

mbc企画案

経済学図書館

小林 幸志

まずは言い訳

- 企画案には次のものが含まれています
 - 技術的にできないもの
 - 政治的にできないもの
 - 法的な問題上、触れるのはどうかと思われるもの
- あくまで企画「案」なので、今後のことは状況に応じて.....
- もしよかったらパクってください

企画案の方向性

- 外向き
 - 東京大学附属図書館が大量に蓄積している書誌情報・所蔵情報を用いた便利で「すごい」サービス
- 内向き
 - 東京大学の図書館職員のお仕事が少しでも楽になり、結果的に、図書館・室のサービス対象である東京大学の構成員が幸せになれるようなサービス
- 外向き・内向き共通
 - 多くの人を巻き込めるとよいですね

企画案(外向き)

- Web API@UTLib
 - UT OPACはキーワード等をPOSTすれば検索できrけれど、UT OPACで検索できない項目をAPIを使って検索できれば面白い?
 - 「配架日」と「所蔵図書館・室」を使って新着図書案内
 - 「貸出回数」を使って貸出ランキング
 - APIを公開することで、誰かが面白いサービスを生み出す可能性あり
 - 「サーバへの負荷」「データ項目の選定」「セキュリティ面」が大きな課題

企画案(内向き) 1

- 図書館員向けの認証サービス
 - 総合図書館、シス管、部局図書館・室の間で行われている業務上の定型的な「やり取り」をWebサービスに置き換えるとき、共通で使える認証の仕組みがあると便利かも
 - やり取りの例: 「IC利用証リサイクル」「全学集中関連」などなど、いずれもやり取りする相手・手段が異なっている
 - E-Catsと連携できるなら、E-Catsに登録されている業務用IDとパスワードを使えると作るのが楽?

企画案(内向き) 2

- 閻魔帳

- 閲覧業務で頭を悩ませる「督促」を少しでも楽にするのが目的

- たとえば、複数部局で延滞している場合、各図書館・室で分散して行っている督促の回数をできるだけ少なくする
 - 次の情報を一括管理できるとよいかも
 - 督促履歴 (各図書館・室で入力。言質を取れる)
 - 連絡先情報 (図書館システム上の連絡先が正しいとは限らない)
 - 未返却資料一覧
 - 画面を見ながら督促の電話をかけられれば便利かも

- 予想される壁

- 個人情報の保護 (漏れたら一大事)
 - 督促業務の「縄張り」を明確にするときに何かが起こる?